



模擬授業（社会科・地歴科教育法Ⅰ）

教職教育センター 新所長からのメッセージ



「教職を目指すみなさんへ」

教職教育センター所長
経営学部教授 大塚 晴之

教職教育センター所長を務めさせていただいております大塚晴之と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

教職を目指すという志を持っていらっしゃるみなさんには言うまでもありませんが、小・中・高における教育のレベルは、私たちが暮らす、社会・経済のありようや、個々人の人生に強く影響を及ぼすため、教職に対しては社会から高い期待が寄せられます。教職は、重い責任を負う仕事であるとともに、（他の仕事もそうですが）誇り高い仕事であるといえるでしょう。

ところで、最近20年ほどの間に、高等学校の教科教育の考え方が大きく変化してきました。例えば公民科で言えば、「知識を獲得する」「データを読む」ということ的能力を育てることはもとより、「分析を行う」「自らの言葉でプレゼンテーションを行う」という能力の涵養の必要性が強調されるようになりつつあります。これからの教員は、生徒に対して、このような力

を涵養する教育ができることが必要になるでしょう。みなさんには、各学部・学科・研究科が提供するカリキュラムとともに、教職教育センターの活動から、このような教育力を獲得して頂くことを期待しております。

教職教育センターのスタッフは、みなさんが学校に就職し、教員として活躍するためのサポートを行うべく、各学部・学科との協働により、教育体制の整備、カリキュラムの充実、授業の改善などを図っております。また、年間の活動記録をご覧になっていただければわかるように、教員として採用されるまでのきめ細かいサポート体制を敷いております。

教職を志望されるみなさんが、教員として社会に飛翔できるよう、センタースタッフ一丸となってサポートを行うことをお約束しまして、ご挨拶の言葉といたします。

教職教育センター 共同研究・実習室(KTL) 指導担当一覧

教職指導員の先生方が11号館2階にあるKTL(K-TEC LABOの略称)に在室しています。

下記の表には、先生の専門教科等を記載してありますが、教科等に関係なく、模擬授業実施や指導案作成、教職全般について、指導・相談を受けられます。授業のない時や可能な時間帯に、KTL・KTCを積極的に利用しましょう！

	月	火	水	木	金	土
10:00 ~ 13:00	小学校 田村泰宏先生	日本語 キャリア教育 吉岡鎮香先生	数学 岡田眞和先生	社会・地歴・公民 岡本真一先生	英語 秋宗英生先生	小学校 9:00 ~ 12:00 田村泰宏先生
14:00 ~ 17:00	理科 山本真弘先生	理科 田中芳和先生	社会・地歴・公民 小南浩一先生	国語 田中清貴先生		

「教師を目指す皆さんへ」

今年度新たに着任された教職指導員の先生からのメッセージ

【国語】 田中 清貴 先生（元兵庫県立小野工業高等学校校長 元神港学園高等学校副校長）

「不易流行」

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、感染拡大に伴う臨時休校や行事の中止など、教育現場も大きく変化をしています。対面を前提としないオンライン授業への対応や慣れないICT機器の運用など、学校では多くの課題が存在しています。

そんな中、新学習指導要領が中学校では昨年、高等学校では今年度から学年進行で実施されています。単元で身につけさせたい力を明確にし、授業の中で達成できたかどうかを評価する「指導と評価の一体化」が重視されています。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で評価することになります。教育の内容が時代の変化にあわせて変わっています。

「不易流行」という言葉があります。世の中の変化とともに変わっていくことを求められると同時に世の中が変わっても変えてはいけないものがあります。どんな時代でも、教師として児童・生徒に対する深い教育的愛情と思いやりを持ち、子供に寄り添うことが求められています。

教員を目指す学生の皆さんをしっかりと支援していきたいと思っています。



【社会・地歴・公民】 小南 浩一 先生（元兵庫教育大学大学院教授、甲南大学非常勤講師）

今年度より教職教育センターで社会科・地歴公民科を担当します小南浩一です。みなさんどうかよろしくお願ひします。

私は2021年3月に兵庫教育大学を定年退職しましたが、2018年から甲南大学で2年生対象の「社会科・公民科教育法Ⅰ」を非常勤講師として担当し、現在も継続しています。

授業を通じて、甲南大学の教職を目指す学生は、素直で、基礎学力の高い学生が多くいると感じています。実際に教員採用試験でも実績を残しています。

さて、日本の教師は先進国で一番労働時間が長くて大変ハードな職業と言われていますが、それでもなお皆さんは教師を目指そうとしています。確かに教師は大変な仕事ですが、それにもまして、きっと喜びと充実感を感じることができるはずです。

フランスの詩人ルイ・アラゴンは、「教えるとは希望を共に語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」といいました。教師が学べば学ぶほど、児童や生徒に伝えたいことがたくさん出てきます。それは無限です。教師自身が学問的にも人間的にも成長することが、児童や生徒の成長を促します。皆さんも学生時代に大いに学び、友と語り合い、多くの経験を得て、「人生は素晴らしい」と教え子に言える人になってほしいと思います。



【理科】 山本 真弘 先生（元兵庫県立神戸甲北高等学校校長）

今年度より教職教育センターで理科担当をしている山本真弘です。皆さんをしっかりとサポートしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今、学校は2015年12月の中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」を受けて、「チームとしての学校」づくりを進めています。学校における課題が複雑化・多様化し、もはや学校だけでは抱えきれない状況にあります。教職員だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、地域ボランティア他の方をお借りし、保護者や地域住民の学校への参画を促していくことが必要です。

また、校内においてもすべての面で平均点の教員よりも、得意分野を持ち、個性豊かな教員が求められています。といっても教員の専門家としての様々な力量が求められているのは確かです。ただ、これらの多くは、採用されてからの様々な仕事や研修によって身につけていきます。だから、採用時においては、①子どもたちや仕事・研修に真摯に向き合うことができる ②他人の考えに耳を傾け、チームの一員として教育活動に取り組める ③常に成長しようとする資質がある人を採用すれば良いと私は考えます。

得意分野を持つ、個性豊かな教員になるためには、今の自分にどのような特性や長所があり、それを教育にどのように生かしているかをしっかりと自覚し、アピールできることが大切です。すべてのみなさんとお話したわけではありませんが、皆さんはそれぞれに素晴らしい、教員としての特性を持っていると感じています。



テーマ 「ICT化が進む教育現場について」 教職指導員の先生からのメッセージ

「小学校」

田村 泰宏 先生



授業におけるICT活用は、情報量や思索・表現の機会確保になり、子どもの学びに深化をもたらします。

同時に、タブレットのあの狭い画面に子どもの視野を閉じ込めてよいのかも感じます。

デジタルテキスト主体の社会だからこそ、とくに初等教育においては、体験ベース、紙ベースの開かれた学びが大切になると見通しています。

「数学」

岡田 眞和 先生



切磋琢磨、好きな言葉だ。KTLで指導していて、つくづく感じる。協調性のある職員が多いほど、いきいきとした職場になるし、学校全体の教育力も向上する。ICT化が進む教育現場にあっては、より求められる資質である。

一人だけが合格する採用試験ではないのだから「チーム甲南」で挑みたい。

KTLへ、全員集合!!

「理科」

田中 芳和 先生



理科は、実験・観察が必須ですが、動きがあるものはICTの活用が以下のように有効と思います。

- 生徒実験に関する動画は、操作の注意点を明確にし、実験の失敗を防ぐ。
- 器具や薬品がないので行えない実験観察を疑似体験できる。
- 教室では実験や観察ができない、原子やイオンをアニメーションで、地層や天体などを写真や動画で見せる。

「英語」

秋宗 英生 先生



教育のICT化で重要なのは、従来の授業をそのままICT化することではなく、より教育効果を高めるためにICTを用いた活動を考えることです。

これからの教員には、新しい発想で授業を創り出していく力が求められています。もちろん、教育現場では、人と人との温かみのあるつながりが一番大切であることには変わりありません。

「社会・地歴・公民」

岡本 真一 先生



皆さんは、IT教育とICT教育の違い、更にICTのCの意味とその目的を理解していますか？昨年1月26日に出された中教審答申「令和の日本型学校教育の…」に示された「個別最適な学び」(個に応じた指導)と「協働的な学び」を支える教育環境として、GIGAスクール構想が(コロナ禍の影響もあり)前倒して全国的に進められました。今まさに教育界にビッグ・ウェイブが押し寄せています。皆さんには、その波を恐れず、的確な知見と向上心でこの大波を乗り越え、児童・生徒と共に新たな学びを楽しめるよう、頑張ってください。甲南大生に期待しています。

「日本語・キャリア教育」

吉岡 鎮香 先生



教育現場でのICT活用、時代が進めば学習道具も進化していくのは当然のことです。既にPCが存在する世に誕生し、中学生が高校生頃にはiPhoneを持たせてもらっていた皆さんは、道具を使いこなすことは特に心配いらないでしょう。

大切なのは膨大な情報を取捨選択する力、情報モラルの意識・態度を高めることだと思います。

教職教育センター専任教員からのメッセージ

「ICTが使える環境の充実について」

定金 浩一 先生 (全学共通教育センター・教職教育センター教授)

本年度高等学校も新学習指導要領が実施され、全ての校種で新学習指導要領が実施されました。そして、GIGAスクール構想のもと、コロナの影響もあり、一人1台のタブレットを持つ時代になりました。当然、授業もタブレットを使ってということになってきます。教職教育センターでは、そのことを踏まえ準備をしてきました。2年前に電子黒板(壁掛け式)の購入と一部の教科のデジタル教科書の導入。昨年度は、全教科のデジタル教科書を導入。本年度は、移動式の電子黒板を購入し、教育の方法と技術、教職実践演習でのデジタル教科書を使つての模擬授業をします。皆さんが、ICTを使って授業ができる環境の整備に努力していきます。



「教員を目指すということ」

藤原 健剛 先生 (経済学部・教職教育センター特任教授)

「あなたは、なぜ教員になりたいと思ったのですか」という問いは、教員採用試験で必ず聞かれる問いです。これは、「中学校の時に素晴らしい先生と出会ったからです」というような教員を目指す切っ掛けとなったことを聞いているのではなく、「教員の魅力は何ですか」と問われたときと本質的には同じで、教員を目指す「内発的な想い」を本人の言葉で確認しようとしているのです。医者は人の命を救います。警察官は人の安全を守ります。教員の使命や誇りは何なのでしょう。今一度、自問してください。よく、「教員としての資質・能力」という言葉を使いますが、資質も能力も「先生になりたい」という想いによって磨かれるものなのです。教員採用試験対策講座を担当していて、結局その一点が教員を目指す原動力になるのだと思うのです。



「学校ボランティア活動に参加しませんか？」

八木 眞由美 先生 (法学部・教職教育センター特任教授)

今年度この活動の担当になりました八木眞由美です。よろしくお願ひします。

この活動は、小・中学校の学校現場にボランティアとして入り、教員のサポートや児童・生徒の学習支援等に從事するものです。学校現場の雰囲気を感じ、教師の仕事を間近で観察できるメリットがあります。また、昨年度から、事前面接や中間報告会、振り返りの会等を実施するなど、教職教育センターが、積極的にこの活動をサポートしています。さらに、今年度から、大学隣接地域の「本山地区(本山中学校区・本山南中学校区)」の小・中学校7校に、学校ボランティアとして参加できる制度が始まりました。本山地区以外での活動を希望する学生は、地元等での活動も可能です。教員を目指す皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



教員採用試験に向けて - 教職教育センターの取り組み -

教職教育センターでは、教員採用試験に向けてさまざまな取り組みを実施しています。各教科の指導力を高めるための教職指導員の先生方による「教科別指導」、教員としての実践的指導力を身に付けることを目的とした各種講座、また、各自治体による「採用試験説明会」など年間を通して取り組んでいます。教員採用試験合格に向けて対策講座も充実しています。積極的に参加しましょう！

(右表、2022年度の実施予定一覧)



① 教科別指導



② 願書・エントリーシート講座



③ 小論文対策講座



④ 教員採用試験対策講座

4月	2・3年生	第1回教科別指導	写真①
	3・4年生	自治体別教員採用試験説明会(兵庫県・岡山県・大阪市・岡山市)	
	4年生	「願書・エントリーシート」講座	写真②
5月	4年生	面接対策基礎講座 小論文対策講座 「教員採用試験対策講座」…「集団面接」を中心に行う	写真③ 写真④
		1～4年生	卒業生教員による講演会
6～7月	4年生	「教員採用試験対策講座」 【兵庫県・京都府・豊能等1次対策】…「集団面接」を中心に行う 【岡山県・大阪市1次/大阪府2次等対策】…「個人面接・場面指導」を中心に行う 【神戸市・岐阜県・奈良県等1次対策】…「集団面接」を中心に行う	
		2・3年生	第2回教科別指導
7～8月	4年生	「教員採用試験対策講座」 【教科別2次・3次対策】…「個人面接・場面指導・模擬授業」を中心に行う 【小論文対策】(私学適性検査対策も含む)…「個別指導」	
10月	2・3年生	第3回教科別指導	
11月	3・4年生	教員採用試験合格体験報告会	
12月	2～4年生	甲南大学卒業生教職員の集い(甲師継星会と共催)	
	4年生	「教職実践演習」…ゲストスピーカーによる授業	
	3年生	【教職教養対策講座】…東京アカデミー(2021年度:オンデマンド配信)	
	1年生	小学校教員免許取得プログラム説明会	
2月	2年生	【一般教養対策講座】…東京アカデミー(2021年度:オンデマンド配信)	
	2・3年生	第4回教科別指導	
	2～4年生	【春期講座】 自己PR力アップ(話し方・文章表現) / 地理基礎講座 / 歴史基礎講座 / 物理実験・観察講座 / 化学実験・観察講座 / 生物実験・観察講座 / 面接・教育課題についての討論・場面指導等	

★ KONAN プレミア・プロジェクト ★

「つながりと成長の教職志望者支援プロジェクト」

KONANプレミア・プロジェクトとは、本学の創造力、融合力、総合力を生かし、全学を上げてKONAN U. VISION 2025の実現に取り組む創発的プロジェクトです。教職教育センターでは、プロジェクトテーマの一つである「KONAN教育デザインプロジェクト」の中で、「つながりと成長の教職志望者支援プロジェクト」に取り組んでいます。その一環としてデジタル教科書や電子黒板を導入し、今後の教育現場で必要とされる「ICT活用教育の推進」に向けて、環境整備を進めています。



(電子黒板導入説明会)

兵庫県の教員採用試験では昨年、ICT機器を使用した模擬授業が実施されています。実際、多くの教育現場で、ICT機器を活用して指導する能力が求められています。

教壇に立つ前に、デジタル教科書や電子黒板等の活用能力を磨いておきましょう!!

“教職教育センター事務室”ってどんな所??

私たち教職教育センター事務室は、現在4名の職員が担当し、教員免許の取得を目指す学生のみなさんを全力でサポートしています!

各種対策講座やスクールサポーターの申込受付、教職関係の進路相談や教職課程の履修登録相談も気軽にお立ち寄りください!

教員採用試験の情報やボランティアの情報は11号館1Fの掲示板で案内しています。KTLには、各募集要項も置いています。ぜひ、ホームページもご覧ください!



「甲南大学公式HP>資格・就職>教職教育センター」で検索、又は、QRコードの読取を→



【場所】3号館1F
教務系オフィスの真ん中あたり
【開室時間】(授業期間中)
平日 9:00～18:00 / 土曜日 9:00～13:00

●●● 小学校教員を目指す人たちへ ●●●

≡≡≡ 小学校プログラムを設置しています ≡≡≡



(模擬授業:「平行四辺形の面積」)

中学校教諭免許取得課程の履修生に対し、神戸親和女子大学の通信教育を受講し、小学校教諭1種免許状を取得するプログラムを設置しています。小学校で教えるには、多様な教科領域にわたる知識や技能を身に付けるとともに、子どもの幅広い発達段階を理解しておくことが求められます。通信教育に合わせて小学校プログラム全体も学び、その専門性を学ぶようにしています。小学校教員をめざす人、また中学校や高校の教員志望の人でも興味ある人は、ぜひ参加してください。小学校教育を知ることで教員としての幅を大きく広げることができます。(小学校プログラム担当 教職指導員 田村泰宏)

※小学校プログラムに参加するには条件があります。

詳細についての説明は、12月頃に実施される「小学校教員免許プログラム説明会」で行います。

“KTC (K-TEC Commonsの略称)”ってどんな所??

KTCでは、教員採用試験の過去問を揃えています。希望する自治体の過去問がない場合は、教職教育センターまでご相談ください。

個人学習のみならずグループ学習等、教科や学年を越えて同じ夢を持つ仲間同士が、互いに高め合う学びの場としても活用出来ます。



その他、小・中・高の教科書や指導書、教職関係の雑誌等のバックナンバーも置いています(最新号はKTLに配架)。

【貸出期間】原則2週間
【場所】11号館2F東側階段の隣
【開室時間】(授業期間中)平日 9:00～17:00

甲南大学 教職教育センター

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL:078-435-2277 FAX:078-435-2278
E-mail:kyooshoku@adm.konan-u.ac.jp

● 教職教育センターホームページ ●

<https://www.konan-u.ac.jp/ktec/>

教職を目指すみなさんへの情報(採用情報、教員採用試験対策、講師登録制度など)をお知らせしています。